

平成21年度の公共工事コスト縮減対策の取り組み結果について

概 要

奈良県では平成9年度から厳しい財政状況の下、限られた予算を有効に活用しつつ、効率的な公共工事の執行を通じて社会資本の整備・充実を図っていくために、「公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」に基づき工事コストの縮減を、平成17年度から「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画の後期実施計画」に基づき総合的なコスト縮減を全庁的に取り組みを行っています。

平成21年度は下記の結果となりました。

(記)

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画の後期実施計画」(H17～H22)による取り組み縮減率の目標数値が15%(平成14年度の公共工事の標準手法と比較)に対して、平成21年度実績は、約14%の削減となりました。

その主な内訳としては、工事の計画・設計等の見直しや技術開発の推進、建設副産物対策等による工事コストの縮減が約6%、重点投資による機能の早期発現による工事の時間的コストの縮減が約7%、施設の耐久性の向上、施設の省資源・省エネルギー化によるライフサイクルコストの縮減が約1%となっています。

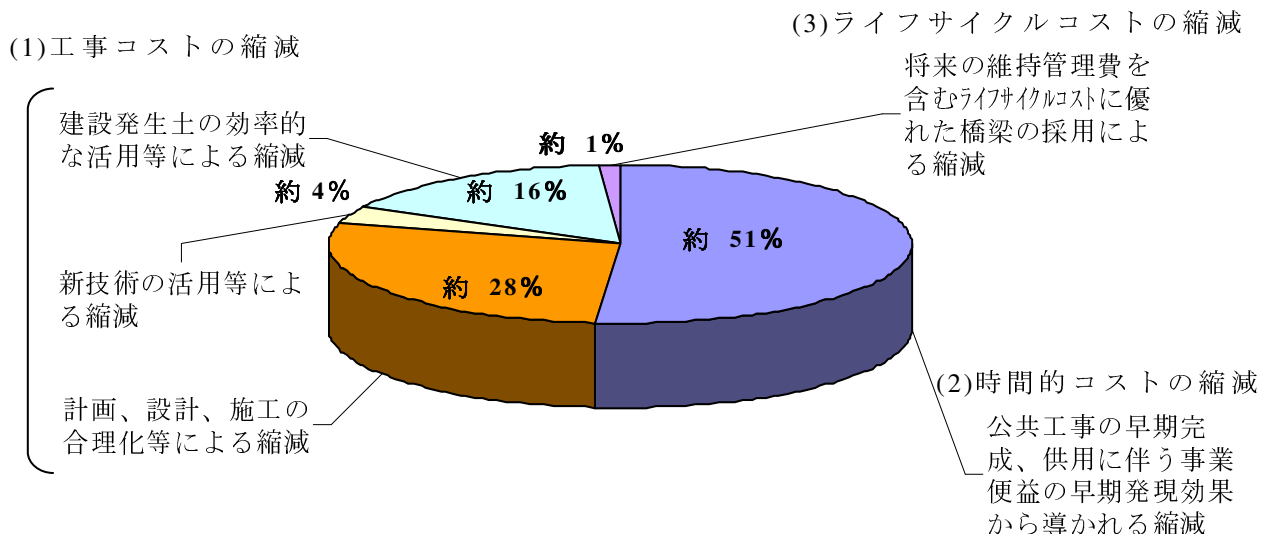
【平成 21 年度 コスト削減結果の内訳】

施 策	平成 21 年度削減額
(1) 工事コストの削減	約 30 億円
(2) 時間的コストの削減	約 33 億円
(3) ライフサイクルコストの削減	約 1 億円
合 計	約 64 億円

施 策	総合コスト削減率	削減総額に占める割合
(1) 工事コストの削減 ・建設発生土の効率的な活用等による削減 ・新技術の活用等による削減 ・計画、設計、施工の合理化等による削減	約 6% (約 2% 約 1% 約 3%)	約 48% (約 16% 約 4% 約 28%)
(2) 時間的コストの削減 ・公共工事の早期完成、供用に伴う事業便益の早期発現効果から導かれる削減など	約 7%	約 51%
(3) ライフサイクルコストの削減 ・将来の維持管理費を含むライフサイクルコストに優れた橋梁の採用による削減など	約 1%	約 1%
合 計	約 14%	100%

* 総合コスト削減率(%) = ((1)(2)(3)の削減額合計) / (工事請負費合計 + (1)(3)の削減額合計)
 ・平成 21 年度工事請負費合計：約 398 億円

《平成 21 年度 コスト削減項目の内訳》



【平成 21 年度取組における具体的事例】

(1) 工事コストの縮減

○計画、設計、施工の合理化等による縮減

- (例) ・地域の実情を踏まえ、1.5車線整備を実施し、工事費の縮減を図った。
・砂防ダムの設計基準の見直しにより、従来に比べ堤体積の小さいダムの施工が可能になり、工事費の縮減を図った。

○新技術の活用等による縮減

- (例) ・新技術情報提供システム (NETIS) 等を活用することで、工事費の縮減を図った。

○建設発生土の効率的な活用による縮減

- (例) ・建設発生土について、現場内での活用や情報を連絡調整して工事間流用することで、建設発生土の再利用を行い、工事費の縮減を図った。

(2) 時間的コストの縮減

○公共工事の早期完成・供用に伴う事業便益の早期発現効果

- (例) ・重点路線の計画を推進することで、事業の効果をより早期に発現することができた。

(3) ライフサイクルコストの縮減

○将来の維持管理費の縮減

- (例) ・耐候性鋼材を利用した橋梁の架設により、塗装の省略化と維持管理費の縮減を図った。